



鈴木 啓太郎



西 和彦



谷 新一



近藤 善則

# 保健センター・防災倉庫を緊急点検 マスク・消毒の備蓄は？ 備蓄庫



●大井総合支所の2階、保健センター備蓄倉庫を視察。

## 信政会議員が各委員会で質問 感染症対策は地域防災計画に加えよ

谷新一議員は、2月27日の総務・教育常任委員会で「様々な災害発生する中で、市においても複合災害（含感染症）を想定した地域防災計画が必要だ」と発言。

また西和彦議員は、3月5日生活・福祉常任委員会で「感染症対策備品は十分か」「どれくらいの準備ができているのか」をしっかりとたじた。

ふじみ野市議会3月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策に集中するため、1名の議員を除いて全員が一般質問を取り下げ、議案予算案を審議、採決を行い、会期を5日間短縮して閉会した。

信政会は、感染症対策の備品備蓄について3月議会で質疑を行い、大井総合支所2階にある保健センター備蓄倉庫に、災害時の保健衛生用品として、マスク、消毒液などが十分に保管され、緊急時に対応できる体制にあることを確認した。

## 復興を目指す熊本を視察



- 上/熊本県の防災ハンドブック
- 下/益城町復興計画について学ぶ
- 右/奥に見えるのが熊本城本丸（現在の先は立入禁止となっている）

熊本県益城町では、震災から3年間、都市計画やまちづくりの分野で進めてきた政策について研修を受けた。復興計画の骨格をなす調査活動が、震災後どのように取り組まれてきたのか、現場作業を担った業界団体からの聴取を行った。



## 防災士を招いて学習会



- 上/平成29年10月には福岡江川が氾濫した。
- 下/浸水地区で排水作業にあたる市職員。(水宮)
- 右/防災士の菊田氏(左)を招いての学習会。

防災士 菊田高雄さん(元福岡在住)から平成29年台風21号の被災状況とその原因について、意見を伺った。元福岡では令和元年台風19号でも、甚大な浸水被害を受けた。信政会も提言を行い、早急な対策が進められている。



# 3月議会

## 市民・都市常任委員会

- ハコモノよりも上福岡駅東口駅前広場整備を急ぐべき。
- 都市計画道路整備など都市基盤整備を優先した政策の実現。
- お年寄りや障がい者に優しいまちづくり。
- 台風等の水害対策について、訴える。

**近藤善則が吠える**

20年の議員経験が今にいきる

## 総務・教育常任委員会

- 子どもの権利条約（意見表明権について）
- 放課後子ども教室は子どもの意見を聞いているか。
- 特別支援教室、31名の支援員では足りない。
- すべての学校に特別支援教室を。(特別支援教室小学校5学級、中学校1学級増 設 8,100万円)

**鈴木啓太郎が正す**

福祉現場の声を市政に届ける

無冠の、ベテラン政策集団

# 信政会

市政発展を目指す

## 総務・教育常任委員会

- 校内通信ネットワーク整備業務について遠隔授業も可能なシステムか。
- 特別支援学級空調設備については工期、通学区等の安全は守られているか
- 国勢調査の周知が足りなくないか。

- 地区防災計画策定に当たっての専門アドバイザーのサポートの必要性。

**谷新一が突く**

防災・まちづくり・都市計画に豊富な経験

## 総括質疑

- 自治組織の活動に対する追加補助「自治組織活動支援事業」
- 県内初となる46歳と56歳の市民を対象に「緑内障検診補助事業」
- 自治組織の重要な活動拠点の将来の望ましい形を導き出すための「自治組織集会施設審議会条例」
- 子どもの権利擁護と体力向上を目指した「こどもにやさしいまちづくり条例（仮称）策定委員会条例」

**西和彦が示す**

行政経験の第一人者

生活・福祉常任委員会